

平成30年度(公社)京都府鍼灸師会 第一回生涯研修会

～竹村文近先生実技供覧セミナー『これからの鍼灸各論編』開催～

平成30年4月15日(日)、昨年引き続き、東京から竹村文近先生を講師にお迎えして鍼灸実技供覧セミナーが開催されました。今回は、お昼休憩を挟みながら朝10時30分から夕方16時までという長時間にわたり、鍼灸実技を披露して頂きました。

今回は、基本治療を中心に「講演頂きましたが、今回は各論編ということで、豪鍼(鍼灸師が鍼治療に使用する一般的な鍼です)を使った小児鍼の手技(かき鍼と言います)、婦人科疾患に対する鍼灸治療、五十肩、難聴、膝関節痛に対する鍼灸治療、美容鍼灸に至るまで、丁寧にご指導頂きました。

また、講演の中で「鍼灸治療は、体に良く健康管理に大いに役立つので患者さんに長く通院してもらえらる鍼灸院にな



るよう努力するように」というお話もされていました。

改めて、鍼灸治療の疾病に対する守備範囲の広さに感心させられる大変有意義なセミナーでした。

聴講された鍼灸師の先生方もメモを取りながら「目を凝らしながら竹村先生に質問しながら熱心に受講されていました。

身体の不調でお困りの読者の皆さん……是非一度、お近くの鍼灸院を受療されてみてはいかがでしょう? 鍼灸治療! オススメします!



竹村先生を囲んでの集合写真



実技風景

「第26回鍼灸師国家試験 速報!」

平成30年2月24日(土)及び25日(日)に実施された第26回鍼灸師国家試験の合格者数が発表され、過去25年間続いて来た70%～80%の合格率が昨年初めて60%台に下がったのに続き、今回の試験では「はり師57.7%」「きゅう師62.5%」について「はり師」が60%台を割り込んだことが判明した。

原因が「受験者の学力低下による」ものなのか、「国が試験問題の難易度を高めた」のかは今後の分析を待つ必要があるが、二年続いて鍼灸師の排出数が減少したことは今後の鍼灸業界全体に何がしかの影響が現れることは否めない。

公益社団法人 京都府鍼灸師会
はりきゅっていきましょう!
毎月8日・9日は「はりきゅうの日」
平成30年 春号
SPRING

「鍼灸の歴史について」

鍼灸は、一般に「はり・きゅう」または「しんきゅう」と呼ばれています。

東洋医学の一分野として中国に起源をもつ我が国の伝統的医療です。鍼灸は

金属の細い針を經穴ツボに刺入したり、或いは艾(もぐさ)を燃焼させて經穴ツボに刺激を与え病気を治す治療法です。鍼灸が、日本に伝わったのは6世紀初め飛鳥時代で、漢方薬よりも先に渡来したと云われています。

古代の中国では、揚子江流域やその南方の地質が豊かでさまざまな植物が茂った所では、その根・皮・木・草等を採集して煎じて飲む、即ち漢方薬が主として

(公社)日本鍼灸師会では広くどなた様にも鍼灸東洋医学に関する情報メールマガジンの受信をお勧めしております。

無料購読登録は公社日本鍼灸師会のホームページ
<http://www.harkyu.or.jp/mail>

《毎月8日、9日は「はりきゅうの日」》

発達したとされています。一方、黄河流域など土地が痩せて植物の種類も少なく生育も悪い地方では、漢方薬が育ちにくかったため、主として鍼灸療法が発達しました。漢方薬と鍼灸、この二つの医学は、中国の漢の時代に「黄帝内経」としてひとつに集大成されました。

No.2より抜粋

健康雑学

「ヒュッグ」

「ヒュッグ」とは「居心地が良い時間や空間」という意味を表すデンマーク語。パチパチと音を立てる暖炉を囲みながら、手編みの靴下やセーターを着込んだ友達や家族が、コーヒーやケーキを食べてほっこりする時間。

ヒュッグはデンマーク人がアイデンティティ並みに重視するコンセプト。それが最近、デンマーク以外の国で「ヒュッグを見習おう」という動きが表れている。

(東洋経済ONLINE 2017/01/11より抜粋)

国際連合が定めた「世界幸福デー」(3月20日)に発表される「世界幸福度報告書」で過去に何度も1位に輝いているデンマーク。デンマーク人にとって「幸せ」は、お金があることや、贅沢をすることではなく、少しでも心地よく家の中で人が快適にいられること。そこで大切なのは「快適に過ごそう」と前向きな気持ちを持つことだとか。「幸せ」は与えられるものではなく「自らそう感じるように努力して得るもの也」。

1986年「幸せって何だっけ何だっけ～ ポン酢醤油が有る家さ～」というTVCMが有ったが、日本的「ヒュッグ」な生活のシーンを手々上手く表している。

さてあなたは2018年日本的「ヒュッグ」な生活のシーンをどんな風にイメージしますか?

編集後記

記録的な早さで満開となった今年の桜でした。開花中は好天にも恵まれ、多くの方がお花見を楽しめたのではないのでしょうか。しかしそんな春爛漫の中、他にも記録的な現象が起きています。

一つはヒノキ花粉の飛散量が過去最高を更新、そして九州沖縄では過去最低の真冬並みの寒さ、本州の内陸部では過去最高の7月のような暑さ。

「春バテ」や「気温差アレルギー」などと言う聞き慣れない言葉を「で医師が言っていました。

このような体調不良は「いずれもお薬で治るとい

京都府鍼灸師会 会誌
「はりきゅっていきましょう!」平成30年度 春号
発行 平成30年4月
発行所 公益社団法人 京都府鍼灸師会
〒602-8147
京都市上京区葎屋町通椹木町下ル直家町215-5
TEL 075-801-2957 Fax 075-841-0200
E-mail: kyotofushinkyushikai@gaea.ocn.ne.jp

おしえて！鍼灸 ⑭

帯状疱疹後神経痛に対しても鍼灸治療は効果がありますか？

A 鍼灸治療は神経痛にいいそうです。が、帯状疱疹後神経痛に対しても効果があるのでしょうか？その治療例はありますか？

(67歳、男性)

Q 「帯状疱疹」は、一般的には皮膚症状(水泡など)とともに痛みを伴う病気で、数週間治療する予後良好なものです。しかし、一部の人はいつまでも痛みが消えず、初めとは異なった症状の痛みへ変化していく「帯状疱疹後神経痛」へ移行します。

移行する要因としては、高齢者、皮疹が重症、痛みが激しい場合、知覚障害が強い、免疫機能が低下、などがあげられます。

なぜ、強い痛みを残すのかは、完全に解明されていませんが、障害された神経が再生する過程で機能異常をおこし、これがさらに中枢の機能異常をおこし、痛みを発生させていると考えられます。

帯状疱疹の治療は、本学麻酔科外来では抗ウイルス剤などの免疫治療法としての薬物・点滴注射、および神経ブロック療法を行って、好成績を上げています。

帯状疱疹後神経痛には、①薬物療法(内服薬・外用薬・点滴)、②交感神経ブロックおよび高周波電気凝固法、③物理的療法(TENS、レーザー照射ほか)④外科的療法(脊髄後根進入部破壊術)、など多くの治療法があります。これは、それだけ確実な治療法がないことを示しています。

ですから、帯状疱疹の早期より治療を積極的に行い、神経痛に移行するのを防ぐことが最も大切です。免疫力低下を防ぐ両方の工夫が大切です。

として私は、漢方薬および鍼灸治療を普段より健康管理法として勧めたいと思います。(症例) 70歳、女性

初診 1995年10月
主訴 額の痛み(左側)

現病歴 9月21日から左側前額部前頭部にかけて水泡が出現し、本学皮膚科にて帯状疱疹との診断を受け、点滴注射と鎮痛剤を服用していた。その後水泡がぶくれ、特に前額部にキリで突かれています。ような痛みを訴え続け、10月に当科外来を訪れた。

治療 本来なら積極的に星状神経ブロック療法を用いるところだが、高齢者でもあり、また脳梗塞などの薬を服用していることから、出血傾向を防ぐため、ブロックは10回までとした。この時点で痛みスコアは、初診時を10点として6点となった。

その後は、のど仏の付近にある水突穴(星状神経節近傍)に直線偏光近赤外線を用いた照射(出力20%)、1秒間照射後、4秒間休止のサイクル、瘢痕部位に置鍼20分間を行った。スコアは40回目まで3点、100回目まで2点となり、痛みが減少。また患部の皮膚温度が上昇し、皮膚循環も改善した。

● 回答者：河内 明先生

元大阪医科大学附属病院麻酔科外来鍼灸部主任鍼灸師 兵庫 明石市



貝原益軒像 (貝原家ご所蔵)

今こそ活かそう「養生訓」

益軒先生の

その25 健康指南

巻第三 飲食より 『養生の術』

三百二十一・三百二十二

● 三百二十一 飲食の内、飯は飽ざれば飢を助けず。あつものは飯を和せんためなり。肉はあかずしても不足なし。少くらつて食をすゝめ、氣を養ふべし。菜は穀肉の足らざるを助けて消化しやすし。皆その食すべき理あり。然共多かるべからず。

● 三百二十二 人身は元氣を本とす。穀の養によりて、元氣生々してやまず。穀肉を以元氣を助けくべし。穀肉を過して元氣をそこなふべからず。元氣穀肉にかたば天(みじか)し。又古人の言に穀はかつべし。肉は穀にかたしむべからずといへり。

中村学園大学校訂テキスト 貝原益軒「養生訓」 デジタル版 貝原篤信編より

飲食の内、飯は飽ざれば飢を助けず。あつものは飯を和せんためなり。肉はあかずしても不足なし。少くらつて食をすゝめ、氣を養ふべし。菜は穀肉の足らざるを助けて消化しやすし。皆その食すべき理あり。然共多かるべからず。

現代語訳

● 三百二十一 副食は少なめに 飲食するうちで、飯を十分に食べないと飢えをいやせない。吸物は飯をやわらげるだけである。肉は飽くほど食べなくても不足しない。少し食べて食を増進し、氣を養わなければならない。野菜は穀物や肉類の不足をおぎなって消化を助ける。すべて食べる理由がある。が、食べすぎることがいけないのはいうまでもない。

● 三百二十二 穀物と肉類

ひとの身体は、元氣をもとにしている。穀物の養分によって元氣は生成しつづける。穀物や肉類をもって元氣を助けなければならぬ。とはいふもののそれらを食へすぎて元氣をそこなつてはならない。元氣が穀物に克つてば命は長いし、穀物が肉に克つと短命になる。古人は「穀に肉にかつべし、肉は穀にかたしむべからず」といふ。

鍼灸のすすめ

特定の傷病名は保険で鍼灸治療が受けられます

“慢性の痛み”に関わる次の傷病名は、医師の「同意書」または「診断書」があれば、保険を使って鍼灸治療が受けられます。

- 坐骨神経痛や肋間神経痛など
- リウマチなど関節が腫れて痛むもの
- 変形性腰椎症やギックリ腰など
- むち打ち症などの後遺症
- 頸腕症候群のしびれ・だるさなど
- 肩が痛くて腕が上がらない五十肩

保険で鍼灸治療を受けるために

鍼灸院にある「同意書」用紙をもらい、かかりつけの医院、病院などで必要事項を記入してもらってください。その「同意書」と「健康保険証」を持って、鍼灸院においてください。健康保険を使って治療を受けることができます。詳しくは、お近くの鍼灸院まで気軽におたずねください。

同意書

健康保険証

(公社)京都市鍼灸師会

保険で鍼灸!?

イライラ・ヒステリー Irritable/Hysteria

How to Care

イライラ、怒りは「氣」を停滞させるので、血圧や内臓機能の動きを損なわせます。内関・神門・太衝は心の高ぶりを抑えるツボです。腹部と背中のツボで緊張をほぐしましょう。

